

SEIKO DIGITAL QUARTZ METRONOME

SQ200

取扱説明書

このたびはセイコーデジタルクォーツメトロノーム SQ200をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用に際しましては、本説明書をよくお読み頂き、正しい使用方法で永らくご愛用くださいますようお願いいたします。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を表示しています。その表示と意味は次のようになります。

絵表示の例

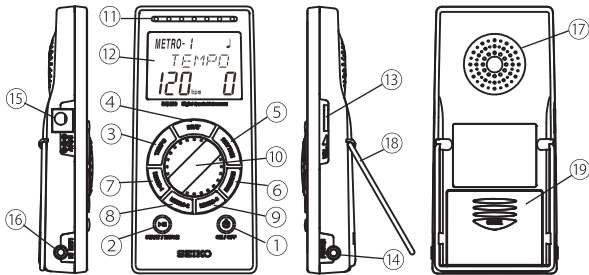
	この絵表示はしてはいけない「禁」を告げる内容です。		この絵表示は必ず実行していただく「強制」であることを告げる内容です。
--	---------------------------	--	------------------------------------

以下の指示を必ず守ってください。

	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをされると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。		電池を火の中に入れない。 破損・発熱・発火の恐れがあります。
	この機器を分解・修理・改造しない。 故障・ショートの原因になります。		ACアダプターは必ず指定のもの(STAD)を、AC100Vの電源で使用してください。
	水滴のついた手で、スイッチ操作をしない。 ショート・感電の恐れがあります。		使用中・保管時に異臭、発熱、変色、変形など今までと異なるときは直ちに電源を切り、使用を中止してください。
	ジャックや電池端子に導電性物質(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。 また、内部に入れないようにしてください。		

	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをされると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。		電池は長時間使用しないときは必ず、湿気等で故障の原因になります。
	電池は(+)を正しく装着する。 故障の原因になります。		お手入れにはシンナー・アルコール類は使用しない。 故障の原因になります。
	スイッチや本体に無理な力を加えたり、落としたり、強くぶつけたらしない。 故障・けがの原因になります。		
	次のような場所での使用や保存はしない。 故障の原因になります。 ・ 湿度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する機器の上など) ・ 水気や汗が溜まる場所(洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所 ・ ホコリの多い場所 ・ 振動の多い場所		
	出力の大きな機器から本機へ入力をしてください。過大な入力は故障や異常動作の原因になります。		

各部の名称



- | | | |
|---------------|--------------------|---------------------------------|
| ① 電源ボタン | ⑧ METRO-2スイッチ | ⑮ ACアダプタージャック |
| ② スタート/ポーズボタン | ⑨ METRO-3スイッチ | (別売STAD: 出力DC5V、100mA センターマイナス) |
| ③ テンポスイッチ | ⑩ 設定ダイヤル | ⑯ ラインインジャック |
| ④ ビートスイッチ | ⑪ メトロノームLED | ⑰ 内蔵スピーカー |
| ⑤ リズムスイッチ | ⑫ 液晶ディスプレイ | ⑱ スタンド |
| ⑥ ノート/ピッチスイッチ | ⑬ 音量ボリューム | ⑲ 電池カバー |
| ⑦ METRO-1スイッチ | ⑭ イヤホンジャック(モノラル出力) | |

[メトロノームモード表示]



[基準音発振表示]



基準音発振モードの使い方

- 電源ボタンを押して電源を入れます。
- ノート/ピッチスイッチを押して「NOTE」と表示させ、設定ダイヤルを回して希望の音名に設定します。
- ノート/ピッチスイッチを押して「PITCH」と表示させ、設定ダイヤルを回して希望の基準ピッチに設定します。
- スタート/ポーズボタンを押すと設定した音とピッチから発音します。音量は音量ボリュームで調整できます。発音を停止する場合は再度スタート/ポーズボタンを押します。
※ メトロノームモードに移行する場合はテンポ、リード、リズム、METRO-1、METRO-2、METRO-3のいずれかのスイッチを押してください。



	設定範囲
発音	C2~B6 (60音)
基準ピッチ	A4=415 Hz、438 Hz~446 Hz

メモリーバックアップ機能

ご使用中に設定された値は電源がオフになっても内蔵メモリーに記憶されています。ただし、電池交換などで電池を抜けばらくするとメモリーの内容は消去されます。

外部機器との接続について

イヤホンや外部スピーカーから音を聞く場合

イヤホンジャック(⑭)にφ3.5mmのモノラルイヤホンを接続すると、内蔵スピーカーからの出力をイヤホンジャックからの出力に切り替えることができます。またアンプ等に接続し、外部スピーカーから音をお聞きいただくこともできます。

- イヤホンでお使いになる際は、聴覚に悪影響を与える恐れがありますので、大音量でのご使用や長時間のご使用はおやめください。
- イヤホン/スピーカーの出力をラインインジャックに入力しないでください。
- アンプ等连接到接続する場合は、本機と各機器の電源をオフにし、音量をしばらくの状態と接続を行い、電源を入れてから各機器を適切な音量に調節してください。

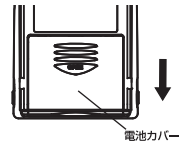
モニタースピーカー機能

ラインインジャック(⑰)にφ3.5mmのステレオプラグを接続すると、接続したオーディオプレーヤー等からの音源を、内蔵スピーカーやイヤホンジャックからモノラル出力できます。また、メトロノームモードのテンポ音と入力された音源をミックスして出力することができます。

- オーディオプレーヤー等を接続する場合は、本機と各機器の電源をオフにし、音量をしばらくの状態と接続を行い、電源を入れてから各機器を適切な音量に調節してください。
- ラインインジャックに入力している音源に対して本機の音量ボリュームは機能しませんので、接続する機器の音量ボリュームで音量調節を行ってください。
- ラインインジャックに音源を入力しているときは基準音を発音しないでください。
- 過大な音源の入力をしてください。入力された音が正常に出力されない場合や、機器が破損する場合があります。

電池交換の方法

電池が消耗してきますと液晶ディスプレイやメトロノームLEDが暗くなったり、音が小さくなります。このような場合は早めには電池交換を行うか、別売のACアダプター(別売STAD)をお使いください。



- 本機の電源をオフにします。
- 製品裏側のスタンドを開き、電池カバーをスライドさせて外します。
- 消耗した電池を取り出し、新しい電池を本機内部の極性表示に合わせて適切にセットします。
- 電源ボタンを押して正常に動作することを確認します。
※ 電池は必ずアルカリ乾電池をご使用ください。
※ 充電電池は本機が正しく動作しませんのでご使用にならないでください。
※ 電池の交換は2本同時に行ってください。新旧の電池を混ぜて使用したり、種類やメーカーの違う電池を混ぜてご使用にならないでください。
※ 古い電池は各自自治体の処分方法に従って適切に廃棄してください。
※ 付属の電池は機能確認用ですので寿命が短い場合があります。

仕様

メトロノーム

チャンネル	: 3チャンネル
テンポ範囲	: 1bpm~300bpm (各チャンネル独立設定)
ビート種類	: 0~9拍子 (各チャンネル独立設定)
リズム種類	: ♩, ♪, ♫, ♬, ♪♪, ♪♫, ♪♬, ♪♭, ♪♭♭ (各チャンネル独立設定)
テンポ精度	: ±0.2%

基準音発振

基準音発振	: C2~B6 (60音)
基準音精度	: ±1 cent
基準ピッチ	: A4=415Hz、438Hz~446Hz

その他の仕様

付加機能	: メモリーバックアップ、モニタースピーカー機能
入出力	: ラインインジャック(φ3.5mmステレオ入力)、イヤホンジャック(φ3.5mmモノラル出力)、ACアダプタージャック

電源: 単四型アルカリ乾電池×2本(3V)、指定ACアダプター(別売STAD)

寸法: 66.9(W)×143.4(H)×25.9(D)mm (突起部含む)

重量: 175g (電池含む)

付属品: 取扱説明書、機能確認用単四型アルカリ乾電池×2本

※仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

メトロノームモードの使い方

SQ200はMETRO-1、METRO-2、METRO-3と3つのチャンネルを内蔵し、各チャンネル毎にテンポ、ビート、リズムを設定できます。また各チャンネルは、それぞれ音色が異なります。お好みの音色でご使用ください。

- 電源ボタンを押して電源を入れます。
- METRO-1スイッチ、METRO-2スイッチ、METRO-3スイッチのいずれかを押して、設定するチャンネルを選びます。
- テンポスイッチを押して「TEMPO」と表示させ、設定ダイヤルを回して希望のテンポ数に設定します。
- ビートスイッチを押して「BEAT」と表示させ、設定ダイヤルを回して希望のビートに設定します。
- リズムスイッチを押して「RHYTHM」と表示させ、設定ダイヤルを回して希望のリズムに設定します。
- スタート/ポーズボタンを押すと動作します。(テンポに合わせてメトロノーム表示LEDが往復点灯し、スピーカーからテンポ音を発音します。) 音量は音量ボリュームで調整できます。動作を停止する場合は再度スタート/ポーズボタンを押します。

※ 基準音発振モードに移行する場合はノート/ピッチスイッチを押してください。



	設定範囲
チャンネル	METRO-1~3
テンポ	1 bpm~300 bpm
ビート	0~9
リズム	♩, ♪, ♫, ♬, ♪♪, ♪♫, ♪♬, ♪♭, ♪♭♭